



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月12日

上場会社名 富士精工株式会社
 コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 (氏名) 森 誠
 (氏名) 近藤 規央
 TEL 0565-53-6611

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	4,817	△2.7	12	△46.9	63	34.3	2	△90.1
29年2月期第1四半期	4,950	△9.7	22	△93.0	47	△88.8	28	△89.8

(注)包括利益 30年2月期第1四半期 △22百万円 (—%) 29年2月期第1四半期 △267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	0.15	0.15
29年2月期第1四半期	1.46	1.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	23,806	16,469	60.7	766.79
29年2月期	23,619	16,583	61.5	767.69

(参考)自己資本 30年2月期第1四半期 14,456百万円 29年2月期 14,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年2月期	—				
30年2月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,900	2.2	150	117.2	420	248.6	270	69.4	14.28
通期	20,390	0.0	460	335.4	710	131.2	450	51.2	23.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年2月期1Q	21,533,891 株	29年2月期	21,533,891 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年2月期1Q	2,681,319 株	29年2月期	2,615,319 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期1Q	18,903,822 株	29年2月期1Q	19,467,478 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、金融市場が活況を見せ製造業や貿易の回復など堅調な上昇に期待がかかるものの、先進国を中心として保護主義の機運が高まり、所得不均衡などの構造的な問題が拡大することへの懸念から景気回復の足取りを重くしております。

わが国経済におきましては、昨年の米国大統領選挙後の円安・株高などもあり、引き続き企業業績の緩やかな回復、雇用情勢・所得環境の改善がみられました。一方で、米国・欧州の対外政策の影響やアジア新興国の経済動向など、先行きの不透明感は払拭されておられません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、企業業績は堅調に推移し、今後の設備投資に対する期待感はあるものの、世界経済の動向、環境対応、国内市場対策など不安要素もあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては「グループ中期経営計画」の達成を目指し、新事業推進部を立ち上げ積極的な事業展開に向けた足場づくりに着手しました。また、意思決定の迅速化を目的に取締役会をスリム化し、機動的な事業展開ができる体制づくりを行いました。

しかしながら、受注環境は依然厳しく、当第1四半期連結累計期間における売上高は48億1千7百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は1千2百万円（前年同四半期比46.9%減）となりました。また、為替の影響などにより経常利益は6千3百万円（前年同四半期比34.3%増）となったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円（前年同四半期比90.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、工具、治具等の売上が低調に推移したことなどにより、売上高は26億6千7百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント損失は2千8百万円（前年同四半期は2千万円のセグメント損失）となりました。

②アジア

当地域におきましては、タイ、インドネシアの子会社で減収となったものの、中国、韓国の子会社で増収となり、売上高は13億1百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

また、中国子会社で原価低減や経費削減等を進めた結果、セグメント利益は1千8百万円（前年同四半期比167.1%増）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、自動車産業界の積極的な設備投資が続いているものの、工具需要に一服感が見られ、売上高は4億4千万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

また、メキシコ子会社の新工場稼働にともなう固定費の増加等により、セグメント利益は1千1百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は2億9千8百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

また、人員増による労務費の増加や新設した製造設備の減価償却費の増加等により、6百万円のセグメント損失（前年同四半期は1千4百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

当地域におきましては、売上高は1億9百万円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比81.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は238億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億8千7百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1億7千1百万円、電子記録債権が1億3千9百万円、有価証券が1億6千7百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が3億3千7百万円減少したことなどによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は73億3千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して、3億1百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億7千2百万円、賞与引当金が1億2千万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は164億6千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1億1千4百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が5千3百万円、その他有価証券評価差額金が8千2百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、当第1四半期連結連会計期間末の自己資本比率は60.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月13日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845,402	5,017,013
受取手形及び売掛金	3,672,119	3,334,780
電子記録債権	1,185,384	1,325,247
有価証券	468,987	636,357
商品及び製品	1,348,137	1,438,551
仕掛品	484,633	528,019
原材料及び貯蔵品	409,758	425,010
繰延税金資産	184,428	235,057
その他	315,614	355,890
貸倒引当金	△63,238	△61,065
流動資産合計	12,851,227	13,234,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,343,066	2,301,031
機械装置及び運搬具(純額)	3,874,632	3,758,862
土地	1,464,978	1,469,061
建設仮勘定	67,955	56,949
その他(純額)	195,899	190,329
有形固定資産合計	7,946,532	7,776,235
無形固定資産	231,863	225,565
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,673	2,091,579
長期貸付金	3,881	3,753
繰延税金資産	337,944	343,984
その他	158,039	162,753
貸倒引当金	△31,758	△31,758
投資その他の資産合計	2,589,780	2,570,312
固定資産合計	10,768,176	10,572,113
資産合計	23,619,403	23,806,976

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,200,791	1,373,704
短期借入金	479,638	464,710
1年内返済予定の長期借入金	91,605	66,676
未払法人税等	33,293	128,847
賞与引当金	131,977	252,938
災害損失引当金	2,570	-
その他	1,125,185	1,079,380
流動負債合計	3,065,061	3,366,258
固定負債		
長期借入金	229,454	212,515
繰延税金負債	13,175	-
退職給付に係る負債	3,516,014	3,547,616
その他	212,077	211,317
固定負債合計	3,970,720	3,971,449
負債合計	7,035,782	7,337,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,147,458	4,146,314
利益剰余金	9,228,105	9,174,162
自己株式	△715,049	△733,793
株主資本合計	15,542,531	15,468,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547,080	465,053
為替換算調整勘定	△160,905	△132,388
退職給付に係る調整累計額	△1,405,016	△1,345,328
その他の包括利益累計額合計	△1,018,841	△1,012,664
新株予約権	26,248	25,240
非支配株主持分	2,033,683	1,987,993
純資産合計	16,583,621	16,469,269
負債純資産合計	23,619,403	23,806,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	4,950,787	4,817,056
売上原価	3,964,880	3,850,120
売上総利益	985,906	966,936
販売費及び一般管理費	962,997	954,768
営業利益	22,908	12,167
営業外収益		
受取利息	8,307	7,757
受取配当金	4,696	4,486
持分法による投資利益	37,592	27,086
その他	28,026	26,557
営業外収益合計	78,623	65,887
営業外費用		
支払利息	4,120	3,586
売上割引	36	99
為替差損	48,940	9,095
その他	913	1,457
営業外費用合計	54,011	14,239
経常利益	47,520	63,815
特別利益		
固定資産売却益	1,649	556
投資有価証券売却益	21,319	4,611
受取保険金	30,000	-
特別利益合計	52,969	5,168
特別損失		
固定資産除売却損	742	2,362
災害による損失	107,675	164
貸倒引当金繰入額	181	-
特別損失合計	108,600	2,526
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△8,110	66,458
法人税、住民税及び事業税	107,453	102,184
法人税等調整額	△147,202	△44,961
法人税等合計	△39,748	57,222
四半期純利益	31,637	9,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,246	6,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,390	2,813

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	31,637	9,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,575	△82,026
為替換算調整勘定	△404,438	△81,710
退職給付に係る調整額	52,952	59,952
持分法適用会社に対する持分相当額	10,537	72,430
その他の包括利益合計	△299,372	△31,354
四半期包括利益	△267,735	△22,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,134	8,989
非支配株主に係る四半期包括利益	△105,600	△31,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,793,212	1,265,624	504,285	273,295	4,836,417	114,370	4,950,787	—	4,950,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	473,574	228,712	2,262	—	704,549	7,185	711,735	△711,735	—
計	3,266,787	1,494,336	506,547	273,295	5,540,967	121,555	5,662,522	△711,735	4,950,787
セグメント利益又 は損失(△)	△20,130	7,019	19,207	△14,309	△8,212	12,983	4,770	18,138	22,908

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,667,426	1,301,463	440,434	298,613	4,707,938	109,118	4,817,056	—	4,817,056
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	385,902	183,081	—	—	568,984	4,419	573,403	△573,403	—
計	3,053,328	1,484,545	440,434	298,613	5,276,922	113,537	5,390,460	△573,403	4,817,056
セグメント利益又 は損失(△)	△28,293	18,749	11,904	△6,816	△4,455	2,409	△2,045	14,213	12,167

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。